

ほうでえ～

ありゃ～のう

周防大島町の話題



10キ口箱で約50個のみかんが入っています。

今年も山口大島みかんを被災地へ

12月22日、福島県いわき市等の仮設住宅で暮らす被災者の方へ、町特産のみかんを届けるため、久賀のJA山口大島柑橘選果場で出発式が行われました。

福島県いわき市が、平成23年9月に米国ハワイ州カウアイ島と友好協定を締結したことをきっかけに、周防大島町と交流が始まり、町では平成23年から毎年、福島へみかんを届けています。

椎木町長は出発式で「復興を願う町民の皆さんの思いが届けられれば、一日も早くもとの生活に戻れるよう願っています。」とあいさつ。みかん379箱は2367世帯の皆さんへ送られました。



▶ 出発式の後、いわき市へ向かってトラックが出発しました。

高規格救急自動車が寄贈されました

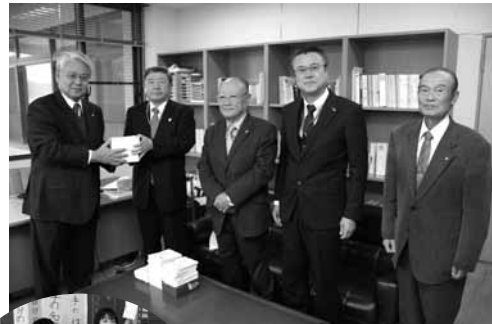
一般社団法人日本損害保険協会から柳井地区広域消防組合へ高規格救急自動車が寄贈され、12月2日、消防本部において、受納式が行われました。

これは、日本損害保険協会が自動車事故の被害者支援事業の一環として毎年行っているもので、今年、全国に5台寄贈したうちの1台。

この車両は、柳井消防署西部出張所（東三浦）の車両が配備から15年が経過していることから同所へ更新配備され、12月2日から運用を開始しています。



▲西部出張所に配備された高規格救急自動車



▲各クラブの代表らから西川教育長へ手渡されました。

▲小学校では早速友だちなどへ宛てて年賀状を書きました。

町内小学生へ年賀はがきを寄贈

町内3つのライオンズクラブが、12月2日、町内の小学生に年賀状を寄贈されました。

これは、子どもたちに手紙の書き方や手紙を書くことでの表現力やコミュニケーションシヨン能力を育んでもらおうと企画されたもので、町内約500人の児童へ一人2枚ずつ、計1000枚が贈られました。

